

令和3年度日本教育大学協会研究集会報告

令和3年度研究集会実行委員長
福岡教育大学教育学部長 藤金 倫徳

開催日 令和3年10月2日(土)

当番大学 福岡教育大学

開催方法 Web開催

はじめに

令和3年度日本教育大学協会研究集会は、福岡教育大学が当番大学となり開催いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、対面での開催はせず、10月2日(土)にWeb開催することになりました。今年度の研究集会を開催するにあたり、Web開催ではあっても、可能な限り対面での開催に近い形で、これからの教員養成についての論議を活発に行うために、開会挨拶及び文部科学省の招待講演についてはZoomウェビナーを、各分科会及びポスターセッションにあつてはZoomミーティングを用いた形での開催といたしました。また、ポスターセッションにおいては、PDFによるポスターの掲示に加えて、動画の掲示も可能として、研究発表内容をより深く説明できるようにいたしました。ただし、例年全体会の中で行われていたパネルディスカッションについては断念いたしました。

なお、今年度もWeb開催としたために、情報交換会も中止いたしました。このように通常とは異なった形での開催となったにも関わらず、とくに分科会・ポスターセッションには全国から78件の発表の申し込みがあり、従来と変わらず充実した会となりました。研究集会の概要は、以下のとおりです。

I 全体会(10:30~11:30)

1 開会挨拶

開会にあたり、日本教育大学協会長の國分充氏より、コロナ禍というこれまでに経験のない状況に立ち向かい、新たな日常への試みを模索しつつ日々の教育研究活動を行っている各大学等の知見が共有され、今後の活動へと繋がることへの期待が述べられました。これに続き、当番大学を代表して、飯田慎司福岡教育大学長より、急激に変化する社会の動きへの国立大学の対応が問われている中で、教員養成系大学・学部については、その高度化と、他大学との連携・集約に関する内容が検討課題となっていること、そうした動きの中で、地域の子どもたちを育成する教員や、教員を養成する教員養成系大学・学部の益々の貢献が期待されること、今回の研究集会で発表された研究成果が、これからの教員養成のさらなる高度化や教育現場での教育内容の一層の改善に資するものになることへの期待が述べられました。

さらに、本研究集会実行委員長の藤金倫徳と、来年度の当番大学である北海道教育大学長の蛇穴治夫氏より挨拶がありました。

2 招待講演

招待講演では、文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室長の小畑康生氏による「教師の資質能力の向上等について」と題した講演が、スライド資料の掲示により行われました。

内容としては、「中央教育審議会答申」をもとに「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、それを担う教師の養成・採用・研修・人材確保等の在り方について、教員養成学部、教員養成大学の果たす役割の重要性(教員養成フラッグシップ大学構想等)について、教員免許状取得の要件の弾力化等を含めてご説明いただきました。

また、国立大学附属学校についても、その使命・役割について、①実験的・先導的な学校教育、②教育実習の実施、③大学・学部における教育に関する研究への協力として整理し、現状では、①地域のモデル校にはなり得ていないこと、②大学との連携では、大学のガバナンスが十分には機能していないこと、③附属学校の研究成果が地域や国に十分には還元されていないことなどが指摘され、可能な限り第3期中期目標期間中に一定の対応がなされることが重要であることなどが指摘されました。

最後に、近年増加している教員の不祥事、いじめ問題への対応などについて、危機管理の一層の強化の重要性が指摘されました。

II 分科会(13:00~16:40)

分科会は、Zoom ミーティングで双方向のやりとりができる形式で行いました。例年と同じように、「学部段階での教員養成」、「大学院段階での教員養成」、「大学・学部と附属学校園の連携・協働」、「へき地・小規模校教育」、「教育委員会との連携・協働による現職教員の教育・研修」、「自由課題」という6つのテーマ別に分けました。発表件数は59件(申し込み後1件辞退)で9会場で実施しました。各会場ともに充実した研究発表と質疑・応答が行われました。

III ポスターセッション(14:20~15:20)

様々なテーマによる全18件の発表がありました。発表者の在席責任時間を分科会発表の休憩時間に位置付けたため、参加者全員がポスターセッションの発表を聞き、発表者と交流をもつことができたと思われまます。

おわりに

このたびは、例年とは異なる変則的な開催であったにも関わらず、全国から多くの皆様にご参加いただき、当番大学の福岡教育大学並びに研究集会実行委員一同、心より御礼申し上げます。また、会の準備、Web公開期間内の運営等につきましては、スタッフ一同万全を期して臨みましたが、とくに今回は初めてのZoomを用いた開催ということもあり、至らぬ点多々あったことと存じます。それでも無事に研究集会を開催できましたのは、ご参加いただいた皆様のご協力によるものです。

研究集会のアンケートでは、「場所の移動なしに文部科学省の説明や研究発表等を聴くことができた」、「Web開催であったため、気軽に参加できた」など評価いただいた点とともに、「スケジュール上時間の制限があり、質問しにくく感じてしまった」、「発表概要集がダウンロードできませんでした」など、実行委員会の不手際でご迷惑をおかけした面もありました。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

最後になりましたが、次年度の研修集会は、北海道教育大学で開かれます。今後も、教員養成に関する教育研究の質的向上と発展を図る機会として、研究集会がますます有意義なものになっていくことを期待いたします。ありがとうございました。

令和3年度 日本教育大学協会研究集会 スケジュール

(当番大学 福岡教育大学)

【日 時】 令和3年10月2日(土) 研究集会 10:30~16:40

【開催場所】 福岡教育大学(Web 開催)

【開催概要】

I 全体スケジュール

10:00	10:30	11:30	13:00	14:20	15:20	16:40
受付	全体会	昼食休憩	分科会 (6分科会)	休憩	分科会 (6分科会)	
		ポスターセッション ※1				

※1 ポスター発表者の在席責任時間は、14:20~15:20 とします。

II 全体会(招待講演) [10:30~11:30]

1. 開会挨拶 (10:30~10:50)
 - (1) 日本教育大学協会 会長 國分 充 東京学芸大学長 挨拶
 - (2) 日本教育大学協会研究集会 当番大学 飯田 慎司 福岡教育大学長 挨拶
 - (3) 日本教育大学協会研究集会 実行委員長 藤金 倫徳 福岡教育大学教育学部長 挨拶
 - (4) 日本教育大学協会研究集会 令和4年度当番大学代表
蛇穴 治夫 北海道教育大学長 挨拶
2. 招待講演 (10:50~11:30)

テーマ：「教師の資質能力の向上等について」
講 師： 文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室
室長 小畑 康生 氏
3. 連絡事項 (11:30 終了予定)

III 分科会(研究発表) [13:00~16:40]

- (1) 第1分科会「学部段階での教員養成」
- (2) 第2分科会「大学院段階での教員養成」
- (3) 第3分科会「大学・学部と附属学校園の連携・協働」
- (4) 第4分科会「へき地・小規模校教育」
- (5) 第5分科会「教育委員会との連携・協働による現職教員の教育・研修」
- (6) 第6分科会「自由課題」

IV ポスターセッション [11:30~15:20]

テーマ：「自由課題」

【事務局】 令和3年度日本教育大学協会研究集会実行委員会

〒811-4192 宗像市赤間文教町 1 - 1 TEL 0940-35-1204 , 1200
福岡教育大学経営政策課教大協研究集会担当